

2026 年定期総会議案書

日 時：2026 年 7 月 12 日（日）

午後 13 時 15 分～午後 13 時 45 分

場 所：ドーンセンター

定期総会式次第

開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議 事

第 1 号議案「2025 年度（第 22 期）事業経過報告および会計決算報告」

第 2 号議案「2025 年度（第 22 期）会計監査報告」

第 3 号議案「2026 年度（第 23 期）事業計画案および会計予算案」

議長解任

閉会のことば

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会

【第1号議案】「2025年度（第22期）事業経過報告および会計決算報告」

1. 事業内容

1.1 活動内容

① WG-D（草の根 WG）活動の実施

WG 活動は、WG-D の草の根防災活動に集約して毎月一回程度、主にオンライン会議として開催しました。その時々話題や、NPO の活動内容について議論しました。本年から、「災害時の好事例」の収集活動も開始しました。

② 研修会（防災講演会）

2025 年 7 月 20 日に、大阪大学名誉教授の青木伸一先生に防災講演会でお話をいただきました。演題は、『大阪湾岸の災害と防災対策』でした。海岸工学の視点からの津波や高潮の災害発生メカニズムや被害を最小限に食い止める話を聞きました。

③ 自然災害伝承碑の情報を公開しました

理事長の辻会員が調査された自然災害伝承碑の報告書（京都府・大阪府第 6 版および全国版第 2 版）を HP に掲載しました。

④ 現地巡検を行いました

「災害好事例の収集」にあたり、辻会員は、現地巡検として、北但大震災で火災での死者が出なかった豊岡市田結地区をはじめ訪問し、復興時の城崎温泉の耐震建物群などを研究されている豊岡市立歴史博物館の学芸員からの聞き取り調査、また、紀伊半島大水害では危機一髪で避難し、一命をとりとめた女性の行動を把握するために和歌山県土砂災害啓発センターに出向き職員からの聞き取り調査など精力的に現地に足を運びました。

⑤ 他の団体「水文化研究所」・京都」との連携と交流を開始しました

辻会員は、2026 年に設立される京都に拠点を置く「水文化研究所」（井戸水、湧水、防災などを深堀:5 月に設立済）の発足に向け、本 NPO との連携を深めるべく、設立のための意見交換の場に参加しました。（結果として、辻会員は、本 NPO から選出の防災分野の客員研究員として招かれることとなりました）

⑥ 養護学校からの「防災マニュアル」作成のアシストを依頼されました

県立西和養護学校（知的障害の小学生や中学生、高等学校生約 250 名）では、先生方約 160 名の全員が参加され、地震時の防災マニュアルの見直しを、計画されている。この見直しに際して、伊藤会員、片瀬会員、田中会員が助言を求められた。現在対応準備中である。

詳しい情報は、ホームページでご確認ください。

<http://toshisaigai.net/katudou.html>

2025 年度（第 22 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計決算報告書（2025 年 4 月 1 日～平成 2026 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る決算報告書

（単位：円）

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収入	会費・入会金収入	0	0	0	
	受託業務	0	0	0	
	前年度からの繰越金	1,957,299	1,957,299	0	
	雑収入	160	735	575	利息
	収入合計	1,957,459	1,958,034	575	

	項目	予算	決算	差額	備考
支出	事業費	211,000	83,635	-127,365	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	5,000	0	-5,000	防災講習講師費等
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	5,000	0	-5,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	5,000	0	-5,000	WG 活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	5,000	0	-5,000	
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	161,000	56,025	-104,975	研修会等
	会場借用料	60,000	22,230	-37,770	
	印刷費等	5,000	3,795	-1,205	資料印刷
	講師旅費	90,000	30,000	-60,000	会員外の講師旅費
	通信費	5,000	0	-5,000	会員へのメール便送料
	その他	1,000	0	-1,000	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	10,000	0	-10,000	講師派遣（交通費等は依頼先負担）
	前号の活動にかかる費用	20,000	27,610	-7,610	プロパティ料金等
	ウェブサイト費用	20,000	27,610	-7,610	
	管理費	105,000	134,575	29,575	
	会議費・旅費交通費・交際費	5,000	0	-5,000	
	租税公課	30,000	0	-30,000	
	備品等整備費	5,000	10,450	5,450	事務用品
	消耗品費	5,000	0	-5,000	
	登記手続料	50,000	68,200	18,200	理事登記費用
	会 費	10,000	10,000	0	地区防災学会会費
	支払い手数料(事務局費)	55,000	45,925	-9,075	事務諸費用 ZOOM サブス
	支出合計	316,000	218,210	-97,700	
	(単年度収支)	▲ 315,840	▲217,475		
当期収支差額（次年度繰越金）		1,641,459	1,739,824	98,365	

【第2号議案】「2025年度（第22期）会計監査報告」

2025年度(第22期) NPO法人都市災害に備える技術者の会 会計監査報告書

私たち会計監査は、2025年度(第22期)NPO法人都市災害に備える技術者の会会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計処理は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

記

- | | |
|-----------|--|
| 1. 監査実施日時 | 2026年 5月 18日 |
| 2. 監査帳簿類 | 活動計算書
貸借対照表
仕訳日記帳
総勘定元帳
当期の証票（領収書）
預金通帳 |

2026年 5月 18日

監事

諸ヶ順子



2026年 6月 3日

監事

山口秀次



【第3号議案】「2026年度（第23期）事業計画案および会計予算案」

現在 2024 年度以降の会費徴収を一時停止しています。今後しばらくは、繰越金を使って会の運営をしてきます。

1.事業計画

特定非営利活動に係る事業

〔会員向け活動〕

1. 防災講演会

防災講演会は、年数回のペースで実施します

2. 発災後活動の開始

災害が発生した際には、被災地調査を実施します。

3.ワーキンググループの活動

これまで通り、当 NPO 活動の中心として行っていきます。WG-D 活動は月に 1 回程度、主に WEB 会議形式で実施します。WG-C の活動は随時実施します。

4. その他

WG で出たアイデア等に対して、実施可能なものを実施します。

〔社会に向けた活動〕

1. 講師派遣等

講師派遣等については、外部からのご要望があれば適宜実施します。「防災マニュアル」作成アシストにも対応していきます。

2. WEB 等での広報

前年度同様にイベント案内や報告をホームページやメーリングリストで情報発信するほか、各WGの活動内容も公表します。

3. マスコミとの連携

関西のマスコミの防災担当者の勉強会である「関西なまずの会」に積極的に参加させていただき、情報発信をより活発化させていきたいと考えています。

4. その他

WG で出たアイデア等に対して、実施可能なものを実施します。

2026 年度（第 23 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計予算案（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る会計予算（案）

（単位：円）

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収 入	会費・入会金収入	0	0	
	受託業務	0	0	
	前年度からの繰越金	1,957,299	1,739,824	
	雑収入	735	800	利息
	収入合計	1,958,034	1,740,624	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
支 出	事業費	83,635	221,000	
	(1) 市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	0	5,000	
	(2) 災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	0	5,000	
	(3) 災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	0	5,000	WG 活動費
	(4) 災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	0	5,000	
	(5) 防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	56,025	161,000	研修会等
	会場借用料	22,230	60,000	
	印刷費等	3,795	5,000	電子化で省力化
	講師謝礼旅費	30,000	90,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	0	5,000	会員へのメール便送料
	その他	0	1,000	
	(6) 防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	0	10,000	講師派遣に係る費用
	前号の活動にかかる費用	27,610	30,000	
	ウェブサイト費用	27,610	30,000	プロバイダ料金等
	管理費	134,575	110,000	
	会議費・旅費交通費	0	5,000	
	租税公課	0	30,000	情報公開資料開示請求用印紙代
	備品等整備費	10,450	5,000	
	消耗品費	0	5,000	
	登記料	68,200	0	決算登記費用
	会 費	10,000	10,000	地区防災学会
	支払い手数料(事務局費)	45,925	55,000	ZOOM・サテ`ウス`等
	支出合計	218,210	331,000	
	(単年度収支)	▲217,475	▲ 330,200	単年度収入-支出
当期収支差額（次年度繰越金）		1,739,824	1,410,424	

事 務 局	事務所	兵庫県西宮市すみれ台 3 丁目 1 番地 (地盤リスク研究所内) Tel 050-7102-2517 Fax 078-201-0077	W E B	http://www.toshisaigai.net e-mail:office@toshisaigai.net
	理 事	山田 信祐 伊藤 東洋雄 大野 一成 太田 英将 廣野 一道 北 高穂 西濱 靖雄 田中 実 辻 謙一	監 事	諸戸 順子 山口 秀次

WG活動

WG略称	テーマ	代表者	活動情報
地盤防災WG (WG-C)	地盤防災を考える	太田英将	住宅地・造成地など防災に関連した地域の地盤防災を考えます。新しい探査法等を試験します。
草の根防災WG (WG-D)	地域活動を考える	山田信祐	幼稚園から大学までの防災・減災出前授業を行っています。他の団体（自主防災組織や防災団体など）と連携して活動しています。他のWGとも連携をとって活動していきます。

定款 （通常総会に関連する部分の抜粋）

(開催)

第24条 通常総会は、毎事業年度1回開催する。

(招集)

第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

(議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項第2号及び第49条の適用については、総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1)日時及び場所

(2)正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)

(3)審議事項

(4)議事の経過の概要及び議決の結果

(5)議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印または記名、押印しなければならない。